
VASCULITIS CLINICAL RESEARCH INVESTIGATORS MEETING

Saturday November 15, 2014: 12:00 PM – 5:00 PM
Boston, MA, USA

CHAIR: PETER A. MERKEL

WELCOME AND INTRODUCTIONS

- 25 mins 1) ACR-EULAR Diagnosis and Classification Study (DCVAS).....R. Luqmani, P. Merkel
a) Current status and protocol updatesP. Grayson, C. Ponte
b) Ancillary research projects/proposals.....J. Sznajd
c) Update on the PedVas study.....D. Cabral
- 2) Current therapeutic clinical trials updates:
a) Consortium-driven, multi-centered clinical trials (investigator-initiated)
20 mins i) Update on current trials of the FVSGL. Mouthon, B. Terrier, X. Puechal
5 mins ii) VCRC trial of abatacept for LVV (AGATA)C. Langford
10 mins iii) VCRC trial of prednisone in GPA (TAPIR)P. Merkel
(1) Proposed trial of prednisone in TAK (TAPIR-TAK).....H. Direskeneli
iv) VCRC-EUVAS collaborative trials:
10 mins (1) Plasma exchange in AAV (PEXIVAS).....P. Merkel
10 mins (2) Rituximab for maintenance in AAV (RITAZAREM).....R. Smith
10 mins (3) Abatacept for GPA (ABROGATE).....C. Langford
- b) Industry-sponsored, multi-centered clinical trials:
10 mins i) Tocilizumab for giant cell arteritis (GiACTA)J. Stone
10 mins ii) Mepolizumab for EGPA (MIRRA)U. Specks
10 mins iii) Belimumab for ANCA-associated vasculitis (BREVAS).....D. Roth
10 mins iv) Apremilast for Behçet's syndromeG. Hatemi
10 mins v) CCX 168 (C5A inhibitor) for AAVP. Bekker
- c) Group discussion of current status/opportunities for trials in vasculitis
- 15 mins 3) Update on other EUVAS activitiesA. Mahr
5 mins 4) Update on other VCRC activitiesP. Merkel
- 15 mins COFFEE/TEA BREAK
- 5) Registries
5 mins a) The VCRC Patient Contact Registry and
5 mins The Vasculitis Patient-Powered Research Network.....P. Merkel, A. Sreih
5 mins b) UK and Ireland Vasculitis Registry (UKIVAS).....R. Luqmani, J. Sznajd
5 mins c) Turkish Takayasu's Arteritis Registry.....H. Direskeneli
5 mins d) BrainWorks Database.....S. Bensler
5 mins e) The VCRC Vasculitis Pregnancy Registry.....M. Clowse
- 15 mins 6) OMERACT Vasculitis Working Group ActivitiesH. Direskeneli, G. Hatemi, P. Merkel
- 10 mins 7) GCA Ultrasound Study (TABUL).....R. Luqmani, S. Singh
- 15 mins 8) Multi-centered genetic studies H. Direskeneli, A. Mahr, A. Morgan, P. Merkel
a) Current studies in AAV, GCA, TAK
b) General discussion
- 15 mins 9) General discussion and proposals/ideas for new studies

CLOSE



臨床病理分科会活動報告

【構成員】

分科会長	石津明洋（北海道大学/病態解析学）
研究分担者	川上民裕（聖マリアンナ医科大学/皮膚科学）
	菅野祐幸（信州大学/感染・免疫病理学）
	高橋 啓（東邦大学/病理診断学）
	土屋尚之（筑波大学/分子遺伝疫学）
	宮崎龍彦（岐阜大学/臨床病理学）
研究協力者	池田栄二（山口大学/病理形態学）
	岩月啓氏（岡山大学/皮膚科学）
	小川弥生（NPO 法人北海道腎病理センター）
	鬼丸満穂（九州大学/病理病態学）
	黒川真奈絵（聖マリアンナ医科大学/生化学）
	平橋淳一（慶應大学/血液浄化・透析センター）
	中沢大悟（北海道大学/免疫・代謝内科学）
	吉田雅治（東京医科大学八王子医療センター/腎臓内科学）

【研究計画】

計画 1. 血管炎症例の病理組織学的所見・血清学的所見・遺伝子/遺伝学的所見につき、診断・重症度・臨床所見・治療反応性等との関連を解析し、それらの成果を診療ガイドラインの作成・改訂に反映させる。

- 1-1. 以下の CQ について、Systematic review を行う文献の検索を行った。
「PR3 陽性 MPA/GPA と MPO 陽性 MPA/GPA の臓器障害の程度に違いがあるか？」
（高橋）
「わが国の ANCA 関連血管炎患者について、Berden らの分類（糸球体病変の組織学的クラス分類）は適用可能か？」（小川）
- 1-2. 現時点で Systematic review が難しい CQ については個別研究で検討した。
「日本人集団における ANCA 関連血管炎の遺伝疫学研究」（土屋）
「ヒト全身性血管炎発症感受性と CD72 多型・発現動態の関連について」（宮崎）
「治療後早期に治療反応性を予測する末梢血遺伝子発現検査法の有用性」（石津）
「血管炎症候群の治療前後における血中 Nets、抗 PSPT 抗体、抗モエシン抗体などと臨床症状との関連」（川上）

「リウマトイド血管炎患者における血中抗ホスファチジルセリン・プロトロンビン複合体抗体の検討」(川上)

「MPO-ANCA 親和性/抗 β -グルカン抗体と ANCA 関連血管炎臨床病理学的因子との関連」(吉田)

「慢性活動性 EB ウイルス感染 (CAEBV) と血管炎【症例提示】」(菅野)

計画 2. 病理診断のエキスパートオピニオンを求めることができるコンサルテーションシステムを構築する。

➤ 依頼/回答フォームについて検討した。(菅野)

計画 3. 平成 16 年度本研究班作製の「血管炎アトラス」を改訂する。

➤ web 版血管炎アトラスの掲載疾患と担当者について検討した。

横断協力分科会活動報告

題目：ガイドラインの評価・検討と普及を目指して

研究分担者（五十音順、 ◎分科会長）

◎高崎芳成（順天堂大学膠原病内科学講座 教授）

要 伸也（杏林大学第一内科 腎臓・リウマチ膠原病内科 教授）

川上民裕 併任（聖マリアンナ医科大学 皮膚科 准教授）

杉山 斉（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科慢性腎臓病対策 腎不全治療学 教授）

竹内 勤（慶應義塾大学リウマチ内科学 教授）

土屋尚之 併任（筑波大学医学医療系分子遺伝疫学 教授）

中岡良和 併任 大阪大学大学院 医学系研究科循環器内科学

藤井隆夫（京都大学大学院医学研究科 リウマチ性疾患制御学講座 特定教授）

本間 栄 併任（東邦大学 医療センター大森病院 呼吸器内科 教授）

研究協力者

野澤和久（順天堂大学膠原病内科 准教授）

1. 調査票の改訂

これまで当研究班は患者個人調査票の改訂に取り組んできたが、厚生労働省の依頼により、「今後の難病対策のあり方に関する研究」班事務局の科学院より策定された新患者調査票について日本リウマチ学会と共同でその改訂作業を実施した。

2. 難病法（難病の患者に対する医療等に関する法律）に基づく新規認定疾患の診断基準、患者個人調査票および重症度基準の策定

巨細胞性動脈炎、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、および原発性抗リン脂質抗体症候群などの新規認定疾患の診断基準、患者個人調査票および重症度基準の策定につき学会と協力し取り組んだ。さらに、既存の認定疾患に対する重症度基準も学会と協力して策定した。

3. 第1回班会議 横断協力分科会決定事項

- 1) 多発血管炎性肉芽腫症は、上気道症状として鼻粘膜に病変が出る場合も多く、日本耳鼻科学会も関連学会への参加を要請する。また、各関連学会に当調査研究班で作成するガイドラインをスムーズに運用してもらうために、各関連学会に委員を設け

て頂き、本分科会のメンバーをその委員に任命して頂けるように各関連学会に働きかけていく。

- 2) 他の各分科会からのガイドライン作成が完了するまでの当面の作業として、本分科会にて、インターネットによる情報発信への対応として当調査研究班のホームページの作成を進める方針が決定した。その一環としてホームページにおける患者向けの疾患説明ページの作成を各関連部会のご助力を得て行う。
- 3) 以前に当調査研究班より作成されたガイドラインの使用状況や評価に関するアンケート調査も施行していくことが決定された。
- 4) 広報活動のひとつとして次々回のリウマチ学会総会において、このテーマにて共同シンポジウムが開催出来るように働きかける方針とした。同様に他の関連学会においても同様なシンポジウムを開催して頂くように働きかけて行く事も本分科会で決定した。

厚生労働科学研究費補助金
難治性疾患等政策研究事業（難治性疾患政策研究事業）
難治性血管炎に関する調査研究
平成 26 年度 総括・分担研究報告書

発行 平成 27 年 3 月 27 日

厚生労働省難治性疾患政策研究事業
難治性血管炎に関する調査研究班
研究代表者 有村 義宏

杏林大学医学部第一内科 腎臓・リウマチ膠原病内科
〒181-8611 東京都三鷹市新川6-20-2
TEL：0422-47-5511（内線 5915） FAX：0422-44-0666

印刷：一ツ橋印刷株式会社
〒135-0033 東京都江東区深川 2-4-11

